I·O DATA

1394-iCN2

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

98463-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i·CONNECTおよびi·CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,FireWireは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- i.LINK,VAIOは、ソニー株式会社の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品内部で結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上の注意

●他のIEEE 1394機器を使う場合は、下記に注意する

・動作に影響が出ることがある

Mac OSでは、他のIEEE 1394ドライバの削除が必要となる場合があります。

・本製品より後にIEEE 1394機器が接続されている場合は電源を切らない

本製品より後のIEEE 1394機器が認識されなくなります。

●本製品に接続したドライブからOSは起動できない

本製品に接続したドライブからのOS起動はサポートされておりません。

●ハードディスクは、Mac OSとWindowsで併用はできない

フォーマット形式の違いにより、併用することはできません。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	1394-iCN2
ドライブ	i-CONNECT搭載ドライブ
IEEE 1394	IEEE 1394, FireWire, i.LINKの総称 詳しくは、54ページをご覧ください。
Mac OS 8/9	Mac OS 8.6, 9, 9.0.4, 9.1, 9.2の総称
Mac OS	Mac OS 8/9
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me,Windows 98の総称
Windows	Windows Me/98,Windows XP,Windows 2000の総称

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に vi
もくじ vii

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 3
各部の名前 5
お使いのOSは？ 6

Mac OS 8/9でお使いの場合 **7**

使えるようにしよう 8
確認しよう 12
基本操作について 13

Windows XPでお使いの場合 **15**

使えるようにしよう 16
確認しよう 18
基本操作について 21

Windows 2000でお使いの場合 **25**

使えるようにしよう 26
確認しよう 28
基本操作について 31

Windows Me/98でお使いの場合 35

使えるようにしよう 38
確認しよう 40
基本操作について 42

付録 45

困った時には 46
サポートソフトの削除 50
Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化 52
IEEE 1394について 54
用語解説 58
ハードウェア仕様 59

サポートセンターへのお問い合わせ 60
サポートソフトのバージョンアップ 61
修理について 62

Memo

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・3

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5

コネクタなどの名前と機能を説明します。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・6

お使いのOSに合ったページを案内しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は

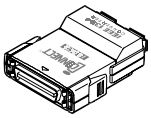
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

☐ **1394-iCN2(1個)**

［IEEE 1394ポート 6ピン×2］



☐ **IEEE 1394ケーブル**
(2種類 各1本)



☐ **1394 CC サポートソフト(1枚)**



☑ **1394-iCN2取扱説明書(本書：1冊)**

☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(1枚)**

☐ **ハードウェア保証書(1枚)**

☐ **ユーザー登録カード(1枚)**

☐ **ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ(1枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？

「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

Mac OS 8/9をお使いの方は･･･

「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」でユーザ登録してください。
登録方法は「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」に記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品に接続するドライブが、現在の環境で使われていること。
・本製品を接続できるIEEE 1394(FireWire,i.LINK)ポートがあること。
※ストレージ機器に対応したIEEE 1394インターフェイスを装着した機種でもご利用いただけます。
弊社では、「1394-PCI2シリーズ」などが対応しております。
「GV-DVC/PCI」,「GV-DVC2/PCI」,「GV-DVC/CB」,「GV-DVC2/CB」は対応しておりません。
※弊社では、OHCI準拠のIEEE 1394インターフェイスで動作確認しています。
・インストール時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac DV※1 **PowerMac G4 Cube, G4** **PowerMacintosh G3(Blue & White)** **PowerBook G4, G3※1** **iBook**	Mac OS※2 8.6, 9, 9.0.4, 9.1, 9.2
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン※3※4※5**	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE

※1　ハードディスクに接続した場合、DVファイルを取り込み再生するために十分な転送速度を得られない場合があります。

※2　FireWire 2.1以降に対応です。
FireWireのバージョン確認方法については、次ページをご覧ください。

※3　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※4　下記機種ではお使いになれません。
SONY　PCG-F34/BP, PCG-Z505JL, PCG-Z505J/BP, PCG-Z505JX
IBM　Aptiva E17, E21, E27, E2J, E31, E3J, E47シリーズ
ThinkPad iSeries 1200 1161-72

※5　購入時にWindows 98(Second Edition除く)またはWindows 95がプリインストールされていたVAIOノートではお使いいただけません。（OSをバージョンアップしても使えません）

FireWireのバージョン確認方法

① [メニュー] → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。

② [FireWire Enabler] または [FireWire Support] のバージョンを確認します。 [J1-] や [J2-] の後の数字がバージョンです。

※ FireWireのアップデートについては、アップルコンピュータ株式会社のホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧ください。

対応i・CONNECT搭載ドライブ

対応i・CONNECT搭載ドライブは常に更新されています

最新情報は下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i・CONNECT対応表」
http://www.iodata.co.jp/products/iconnect/sheet.htm

・弊社カタログ

i・CONNECT搭載ドライブは、カタログ・パッケージの「i・CONNECTマーク」が目印です。

●CD-RW/DVDドライブ

ライティングソフトとして「B's Recorder GOLD for Macintosh」が添付されていた場合は、Ver1.6.1以降にアップデートすることをおすすめします。
アップデートについては、株式会社ビー・エイチ・エーのホームページをご覧ください。

http://www.bha.co.jp/

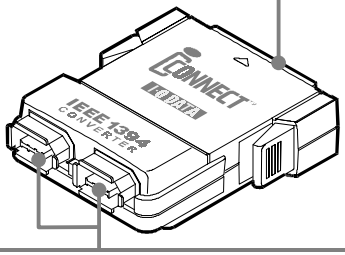
各部の名前

各部の名称および機能の確認をします。

1394-iCN2

i･CONNECT対応コネクタ

ドライブのi･CONNECTと接続します。



IEEE 1394ポート（6ピン）

IEEE 1394ケーブルを接続します。

IEEE 1394ケーブル

IEEE 1394コネクタ（6ピン）

IEEE 1394ポート（6ピン）やFireWireポートに接続します。



IEEE 1394コネクタ（4ピン）

i.LINKポートに接続します。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Mac OS 8/9	【Mac OS 8/9でお使いの場合】	7ページ
Windows XP	【Windows XPでお使いの場合】	15ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	25ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98でお使いの場合】	35ページ

Mac OS 8/9でお使いの場合



ハードディスクをお使いの場合は･･･

初期化方法が他のi･CONNECT対応オプションと異なります。
使えるようにしたあとで、本製品に接続したハードディスクを初期化したくなった場合は、【Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化】(52ページ)をご覧ください。

使えるようにしよう ･･･････････････8

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

確認しよう ･･･････････････12

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ･･･････････････13

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.co.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

本製品を使えるようにする

本製品を使えるようにします。

まだ本製品を接続しないでください

本製品は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（次ページの手順**5**以降で接続します。）

1 Mac OS 8/9を起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OS 8/9を起動します。

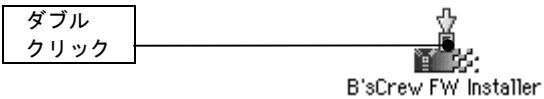
2 「1394 CC サポートソフト」を挿入します。

「1394 CC サポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。
⇒自動で「1394 CC サポートソフト」の中が表示されます。

自動で開かなかった場合は･･･

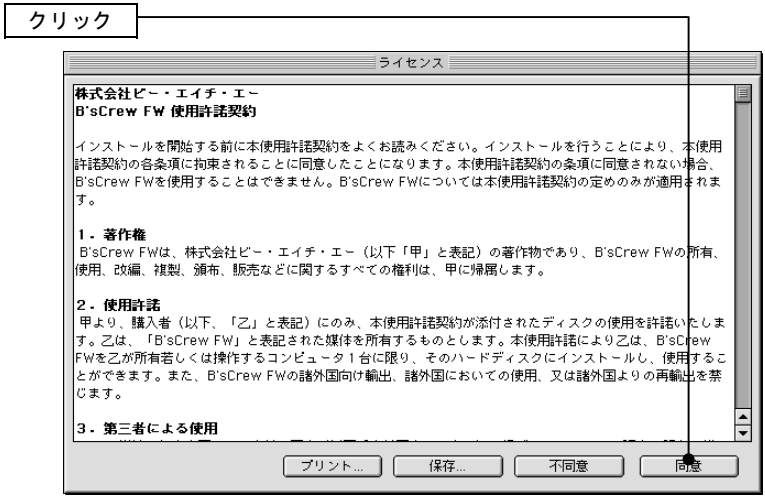
デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン(1394CC_xxx：xxxには数字が入ります)をダブルクリックしてください。

3 [B'sCrew FW Installer]をダブルクリックします。

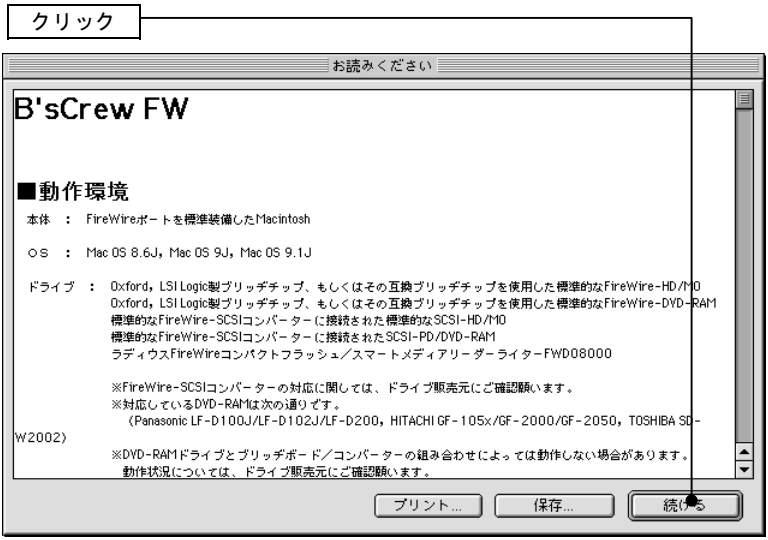


4 使用許諾契約を読み、同意するかどうかを決定します。

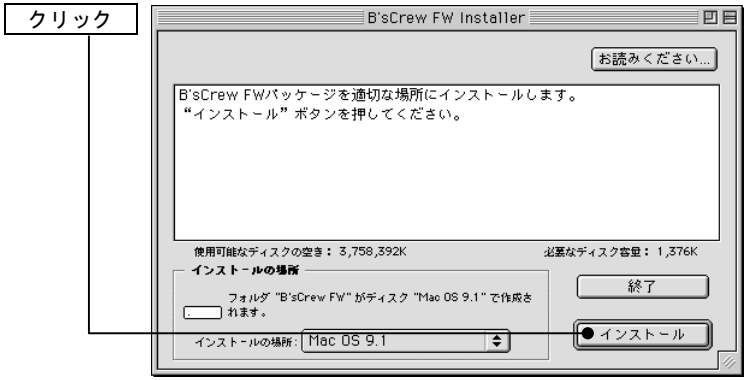
内容に同意するなら［同意します］ボタンをクリックします。
このインストールをするには、同意する必要があります。



5 ［続ける］ボタンをクリックします。



6 ［インストール］ボタンをクリックします。

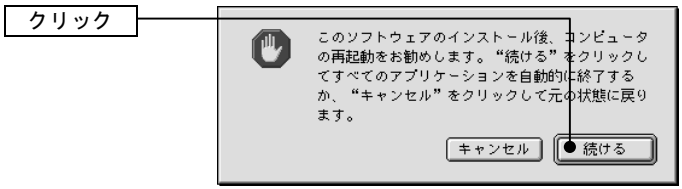


インストールの場所を変えたい場合は

［インストールの場所］を設定してください。
通常、変える必要はありません。

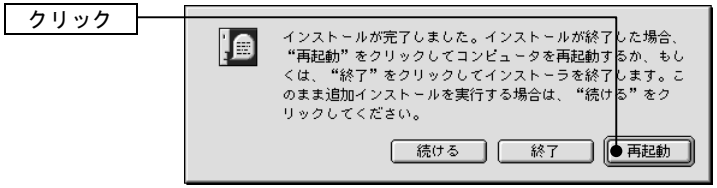
7 ［続ける］ボタンをクリックします。

⇒「B'sCrew FW」がインストールされます。



8 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

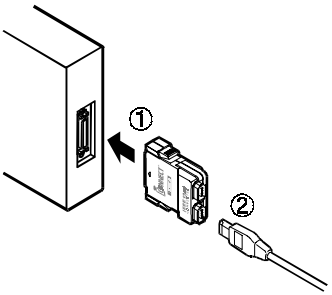


接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

9 ドライブに接続します。

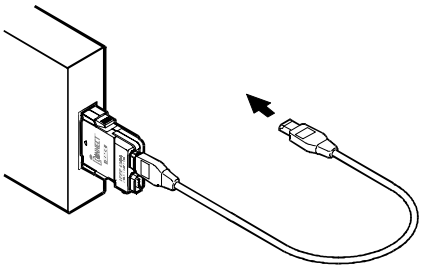
①本製品の両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐ
に差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②本製品に、IEEE 1394ケーブル(6-6ピン)を接続します。



10 ドライブの電源を入れます。

11 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。
IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品が使えるかどうかを確認します。

1 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

メニューの中の［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

2 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

3 ［fw609e,xxxxx］を確認します。

［FireWire］の中に［fw609e,xxxxx］があることを確認します。

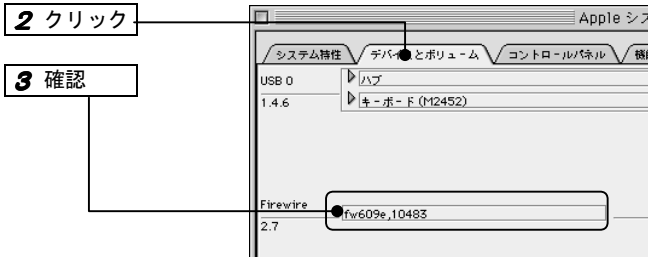
※ xxxxxには数字が入ります。

注意

［fw609e,xxxxx］がない

【接続する】(11ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

Mac OS 9.1の例



4 CD-RW,DVD,MOドライブの場合は、ディスクを挿入します。

方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

5 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

デスクトップ上にアイコンがあることを確認します。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品を接続する	本ページ
本製品を取り外す	本ページ

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をFireWireポートに接続します。

本製品を取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	次ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をFireWireポートから取り外します。

4 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 本製品をFireWireポートから取り外します。

3 ドライブの電源を切ります。

Windows XPでお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・16

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・18

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・21

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

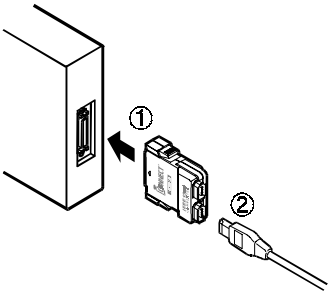
本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.co.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

接続する

1 ドライブに接続します。

①本製品の両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②本製品に、IEEE 1394ケーブルを接続します。

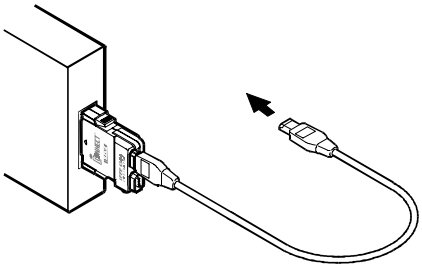


2 ドライブの電源を入れます。

3 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 ［マイコンピュータ］を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

2 ［システム情報を表示する］をクリックします。

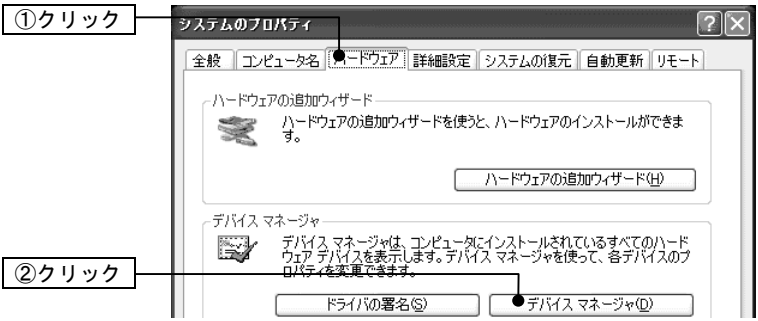
「システムのタスク」内にある［システム情報を表示する］をクリックします。



3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

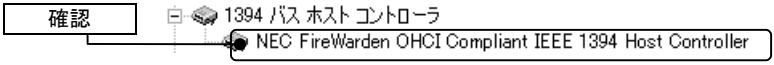
①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



4 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

［1394 バス ホスト コントローラ］の下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



IEEE 1394コントローラの名前は･･･

環境によって異なります。

通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

IEEE 1394コントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 本製品を確認します。

［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter IEEE 1394 SBP2 Device］を確認します。

接続するドライブの種類によって確認する場所が異なります。

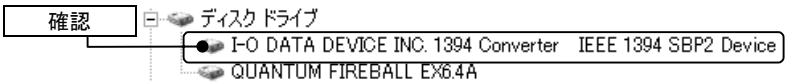
・ハードディスク、MOドライブの場合

［ディスクドライブ］の下にあります。

・CD-RW/DVDドライブの場合

［DVD/CD-ROMドライブ］の下にあります。

ハードディスク、MOドライブの場合



CD-RW/DVDドライブの場合



［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］に［!］が付いている

【接続する】(26ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］がない

【接続する】(26ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

7 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。



ドライブのアイコンがない

【接続したドライブのアイコンが表示されない】（47ページ）をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	23ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された［I-O DATA ・・・・］をクリックします。

複数の弊社製IEEE 1394機器を接続している場合は、［I-O DATA DEVICE INC, 1394 Converter IEEE 1394 SBP2 Device］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 ［ハードウェアの取り外し］が表示されたのを確認します。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(21ページ)をご覧ください。

2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

Memo

Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしよう ……26

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

確認しよう ……28

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ……31

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

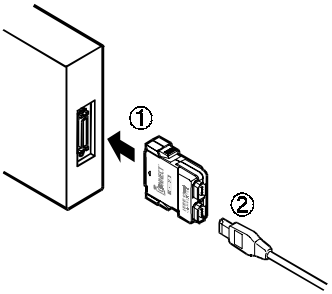
本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.co.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

接続する

1 ドライブに接続します。

①本製品の両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②本製品に、IEEE 1394ケーブルを接続します。

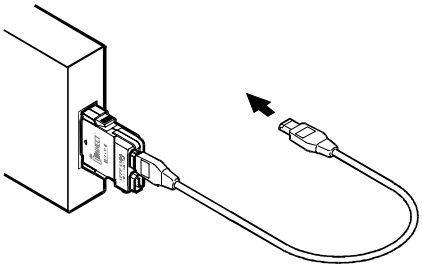


2 ドライブの電源を入れます。

3 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

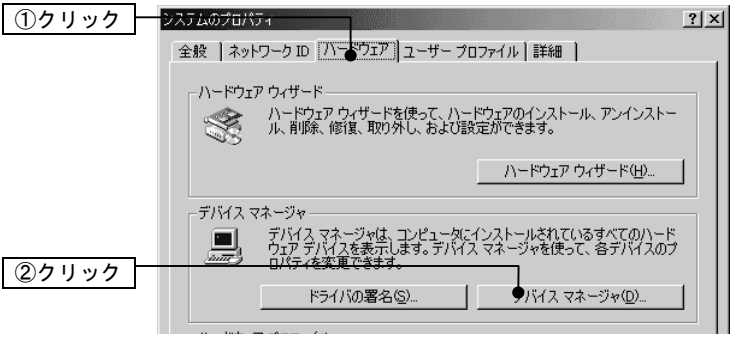
1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

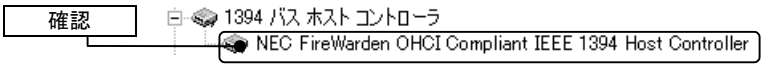


3 ［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



4 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

［1394 バス ホスト コントローラ］の下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



IEEE 1394コントローラの名前は･･･

環境によって異なります。

通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

IEEE 1394コントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 本製品を確認します。

接続するドライブの種類によって確認する場所が異なります。

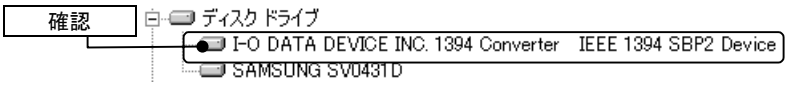
・ハードディスク、MOドライブの場合

［ディスクドライブ］の下にある［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter IEEE 1394 SBP2 Device］を確認します。

・CD-RW/DVDドライブの場合

［DVD/CD-ROMドライブ］の下にある［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter IEEE 1394 SBP2 Device］を確認します。

ハードディスク、MOドライブの場合



CD-RW/DVDドライブの場合



［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］に［!］が付いている

【接続する】(26ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

［I-O DATA DEVICE INC. 1394 Converter････］がない

【接続する】(26ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある  をクリックします。

7 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	33ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

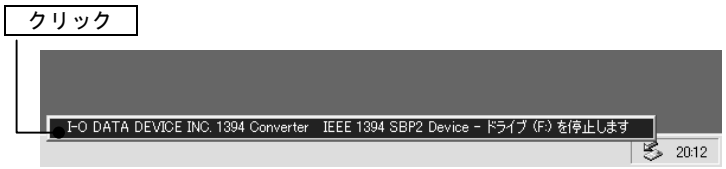
CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された［I-O DATA ・・・・］をクリックします。

複数の弊社製IEEE 1394機器を接続している場合は、［I-O DATA DEVICE INC, 1394 Converter IEEE 1394 SBP2 Device］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(31ページ)をご覧ください。

2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

Memo

Windows Me/98でお使いの場合

使えるようにしよう ……38

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

確認しよう ……40

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ……42

本製品を使う上での操作について説明します。

Windows 98 SEをアップデートしよう

本製品を使うために、Windows 98 SEをアップデートします。

この作業を行うと元に戻せません
あらかじめご了承ください。

Windows Meをお使いの方へ
本作業は必要ありません。
【使えるようにしよう】(38ページ)へお進みください。

PCカードなどをお使いの方へ
本作業を行うと、PCカードなどの取り外し方も変わります。
ご注意ください。

1 「1394 CC サポートソフト」を挿入します。

「1394 CC サポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 アップデートします。

［マイコンピュータ］→［1394CC_xxx］→［WIN98］→［242975JPN8］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。



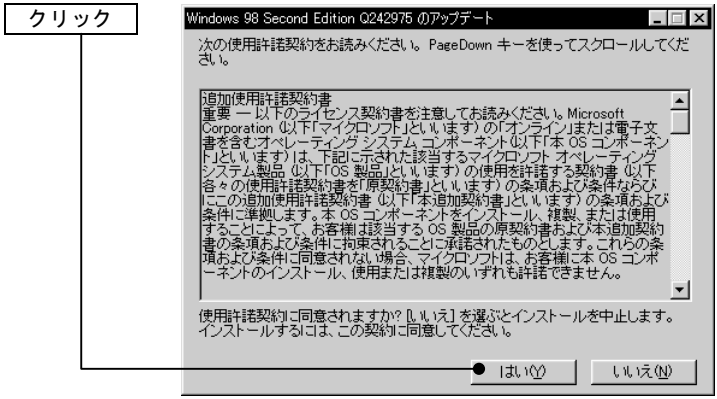
3 ［はい］ボタンをクリックします。



4 内容に同意するなら、［はい］ボタンをクリックします。

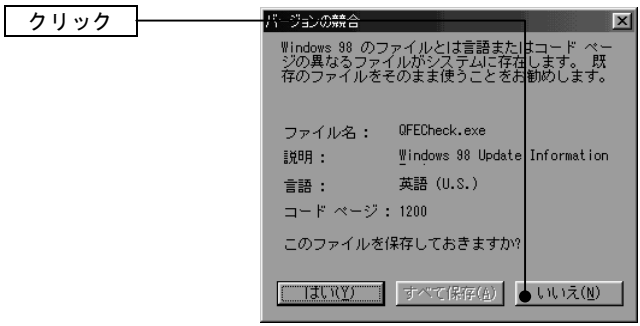
内容に同意するなら［はい］ボタンをクリックします。

この作業をするには、同意する必要があります。



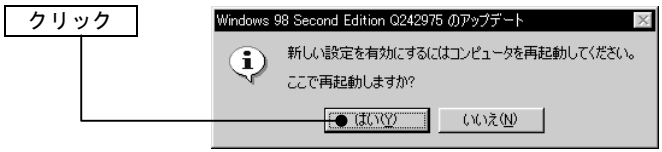
5 この画面が表示される場合があります。

その場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。



6 ［はい］ボタンをクリックし、再起動します。

⇒これでWindows 98 SEのアップデートは終了です。



使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

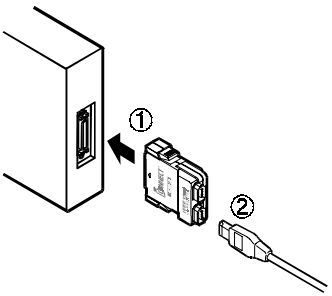
・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
http://www.iodata.co.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

接続する

IEEE 1394ポートへの接続について説明します。

1 ドライブに接続します。

①本製品の両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②本製品に、IEEE 1394ケーブルを接続します。

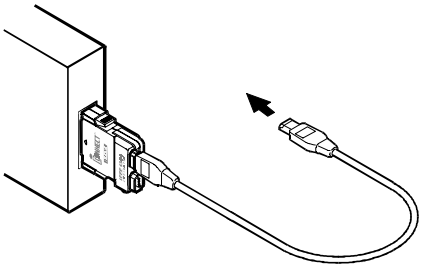


2 ドライブの電源を入れます。

3 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ケーブルをIEEE 1394ポートにまっすぐ接続します。

IEEE 1394ポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 IEEE 1394コントローラの名前を確認します。

［1394バスコントローラ］の下にあるIEEE 1394コントローラの名前を確認します。



IEEE 1394コントローラの名前は･･･

環境によって異なります。

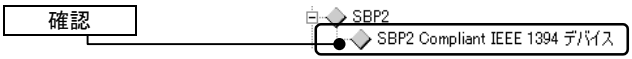
通常、「～IEEE 1394～Controller」という名前になっています。

IEEE 1394コントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 本製品を確認します。

［SBP2］の下に［SBP2 Compliant IEEE 1394デバイス］があるかどうかを確認します。



［SBP2 Compliant IEEE 1394デバイス］に［!］が付いている

パソコンもしくはIEEE 1394インターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある  をクリックします。

7 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	44ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

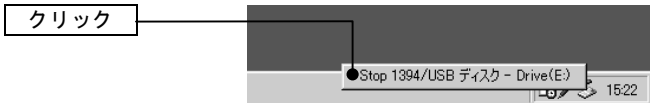
CD-RW,DVD,MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 [Stop･･･]または[･･･の停止]をクリックします。

複数のIEEE 1394コンバータを接続している場合は、表示の後半に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

表示について

表示は、OSと接続するドライブによって異なります。

	Windows Me	Windows 98 SE
ハードディスク	IEEE 1394 ディスク	1394/USB ディスク
MOドライブ	IEEE 1394 光ディスク	1394/USB 光ディスク
CD-RW,DVDドライブ	IEEE 1394 CD-ROM	1394/USB CD-ROM

4 [OK] ボタンをクリックします。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(42ページ)をご覧ください。

2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・46

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・50

サポートソフトの削除方法を説明します。

Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・52

Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化方法について説明します。

IEEE 1394について ・・・・・・・・・・・・・・・・・54

IEEE 1394について説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・58

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・59

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

接続したドライブのアイコンが表示されない	４７

Mac OS 8/9でのトラブル

「FireWireディスクから応答がありません」と表示される	４８

共通のトラブル

接続したドライブのアイコンが表示されない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **ドライブ側の設定が正しくない**

接続しているドライブの取扱説明書をご覧ください。

原因３ **正常に認識されていない**

【確認しよう】(12, 18, 28, 40ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因４ **機能拡張が競合している(Mac OS 8/9のみ)**

【機能拡張の競合解消方法】(48ページ)をご覧ください。

Mac OS 8/9でのトラブル

「FireWireディスクから応答がありません」と表示される

原因 **スリープからの復帰時に表示されることがある**

使用には問題ありません。
しばらくすると消えますので、そのままお使いください。

機能拡張の競合解消方法

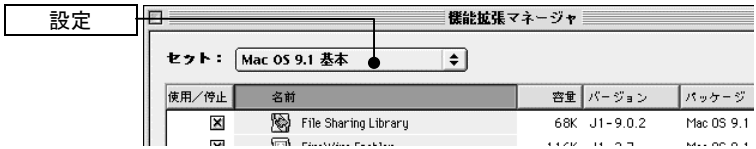
この作業は、【接続したドライブのアイコンが表示されない】(47ページ)の問題を解決する方法の１つです。説明には、Mac OS 9.1を使っています。
他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 **「機能拡張マネージャ」を開きます。**

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 **［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。**

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 **［セットの複製］ボタンをクリックします。**

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 **［B'sCrew FW Driver］に［×］を付けます。**

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

本製品のアイコンが画面に表示されることを確認します。

また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。

動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。
この手順は、Mac OS 8/9専用です。

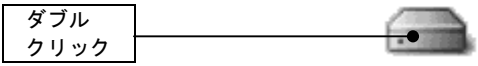
Windowsをお使いの方へ
サポートソフトの削除は必要ありません。
本製品の認識に、サポートソフトを使っておりません。

1 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(13ページ)を参照してください。

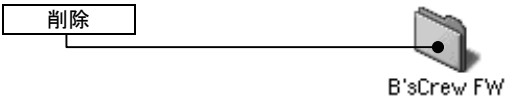
2 「起動ボリューム」を開きます。

「起動ボリューム」のアイコンをダブルクリックします。



3 [B'sCrew FW] フォルダを削除します。

「起動ボリューム」の中にある［B'sCrew FW］フォルダを削除します。



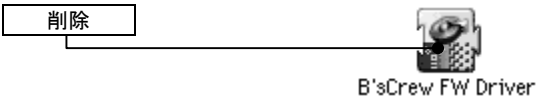
削除の仕方
削除したいアイコンをクリックしたまま、ゴミ箱に移動します。
ゴミ箱の上に来たら、マウスのボタンを離します。

4 [機能拡張] を開きます。

［システムフォルダ］→［機能拡張］の順にダブルクリックします。

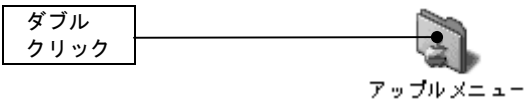


5 ［B'sCrew FW Driver］を削除します。

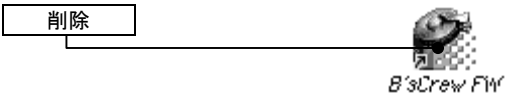


6 「アップルメニュー」を開きます。

［システムフォルダ］の中にある［アップルメニュー］アイコンをダブルクリックします。



7 ［B'sCrew FW］のエイリアスを削除します。



8 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これでサポートソフトの削除は完了です。

Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化

ここでは、Mac OS 8/9でのハードディスクの初期化方法について説明しています。
この手順は、Mac OS 8/9専用です。

ハードディスク内に必要なデータがある場合は･･･
初期化を行うと、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。
別のハードディスク等にバックアップを行ってから、初期化してください。

「B'sCrew FW」について詳しくは
「1394 CC サポートソフト」の［ユーザーズマニュアル］→［B'sCrew FW User's Manual.pdf］をご覧ください。
※表示できない場合は、「Adobe Acrobat Reader」を入れてください。

1 本製品以外の全てのFireWire機器を取り外します。

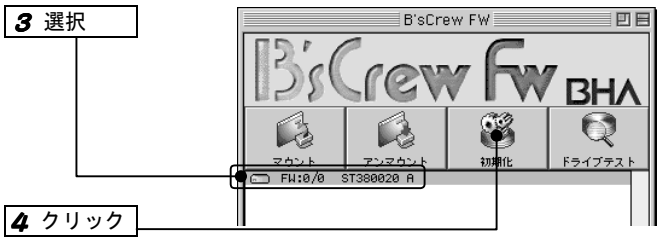
2 「B'sCrew FW」を起動します。

メニューの中の［B'sCrew FW］をクリックします。

3 ドライブを選択します。

ドライブが1つだけ表示されているので、それを選択します。

4 ［初期化］ボタンをクリックします。



5 ［イニシャライズ］の設定をします。

［パーティション数］と［パーティションタイプ］を決めます。

参考

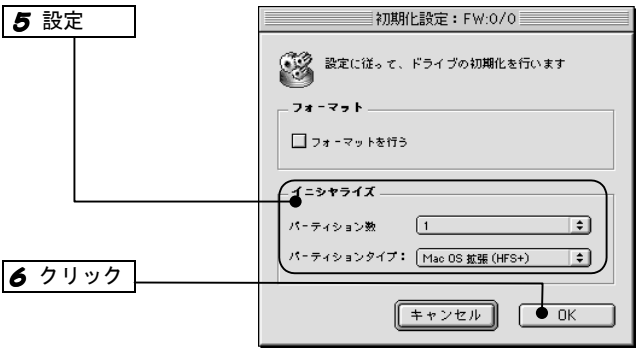
［パーティションタイプ］の選択について

［Mac OS拡張］を選択することをおすすめします。

80Gバイト以上のハードディスクを接続している場合

［MSDOS形式（FAT）］は選ばないでください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。



7 ［OK］ボタンをクリックします。



8 ［OK］ボタンをクリックします。



IEEE 1394について

IEEE 1394について説明します。

IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)とは？

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

FireWire(ファイヤーワイヤー)とは？

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer,Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

i.LINK(アイリンク)とは？

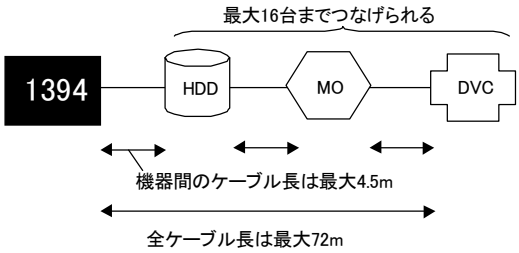
IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

IEEE 1394機器の接続方法

●正しい接続方法

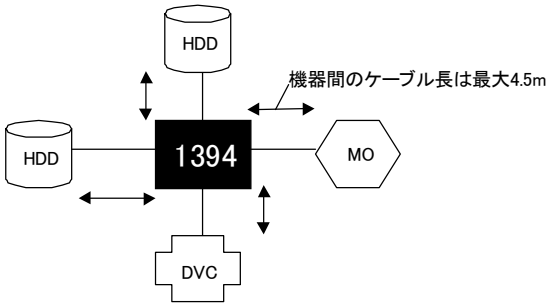
・デイジーチェーン

機器同士を、じゅず状につなげる方法。



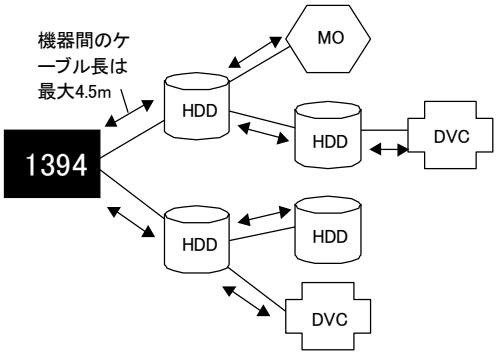
・スター

IEEE 1394インターフェイスを中心にスター(星)状につなげる方法。



・ツリー

各機器から枝別れさせてつなげる方法。



参考

記号の説明

1394 IEEE 1394ポート搭載パソコン

HDD ハードディスク

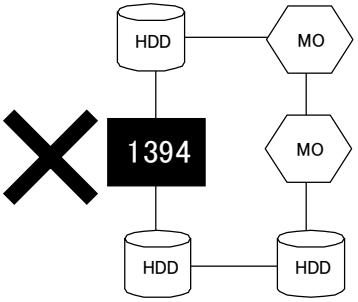
MO MOドライブ

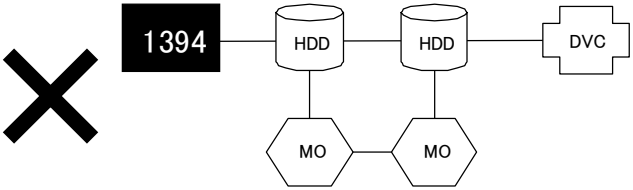
DVC DVC（デジタルビデオカメラ）

●誤った接続方法

・ループ接続

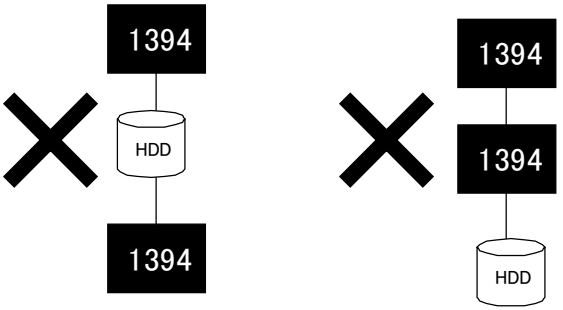
IEEE 1394インターフェイスおよび機器間をループ状につなげる方法。





・共有接続

複数のパソコンで機器を共有するようにつなげる方法。



IEEE 1394機器の接続可能台数

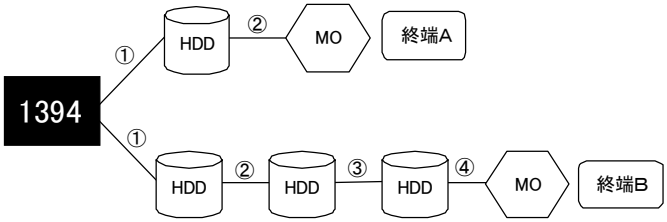
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を使えません。

IEEE 1394ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは4本のケーブルを使っています。



複数のIEEE 1394機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

i・CONNECT［アイコネクト］

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。
i・CONNECT搭載ドライブは、i・CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使える。

ハードウェア仕様

●1394-iCN2

対応規格	i・CONNECTおよびIEEE 1394(FireWire,i.LINK)※1
転送速度	400Mbps
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%　（結露なきこと）
外形寸法	44(W)× 52.5(L)× 17.1(H)mm
質量	約40g

※1 物理層は、IEEE 1394-2000に準拠。

●IEEE 1394ケーブル

名称	IEEE 1394ケーブル (6-6ピン)	IEEE 1394ケーブル (6-4ピン)
インターフェイス仕様	IEEE 1394	
対応速度	400Mbps	
ケーブル長	約100cm	

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「1394-iCN2」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「1394-iCN2」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

1394-iCN2 取扱説明書
2001.Nov.19 98463-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。